Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/10/02

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.53	0.10
JPY/THB	0.2266	0.0008
USD/JPY	143.57	-0.06
EUR/THB	36.00	-0.09
EUR/USD	1.1068	-0.0067
USD/CNH	7.030	0.023
SGD/THB	25.26	0.02
AUD/THB	22.39	-0.02
USD/INR	83.82	0.02
USD Index	101.19	0.42

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,667.3	31.2
WTI (Oil)	69.83	1.66
Copper	9,979.0	150.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,464.66	15.83
NIKKEI (JP)	38,651.97	732.42
DOW (US)	42,156.97	-173.18
S&P500 (US)	5,708.75	-53.73
SHCOMP (CN	3,336.50	0.00
DAX(GER)	19,213.14	-111.79

Bond

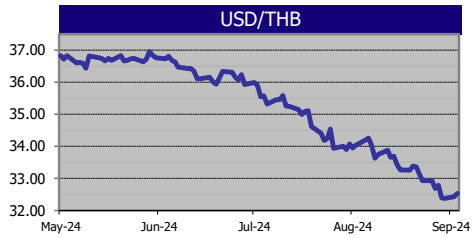
	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.247	0.014
10Y (THB)	2.498	0.015
5Y (USD)	3.509	-0.050
10Y (USD)	3.732	-0.049

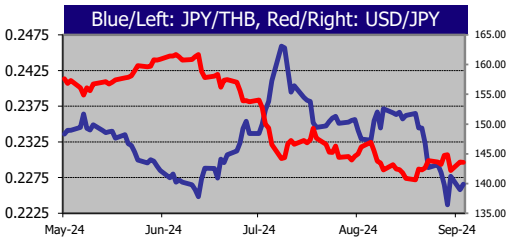
Fund Flow (Overseas Investors)

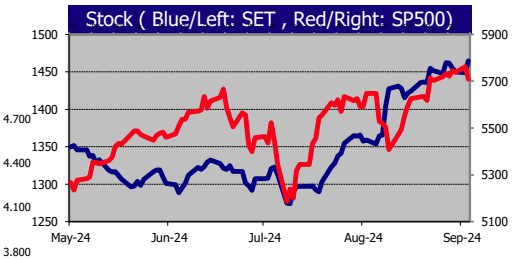
	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,715)	-752.8
Bond net flow	(3,034)	-2258.0

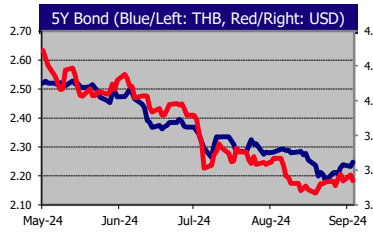
*compared with previous day

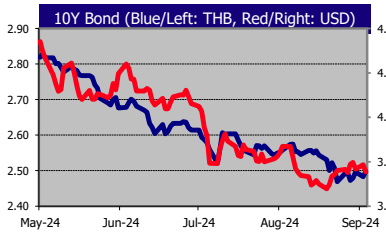
(Source: Bloomberg)

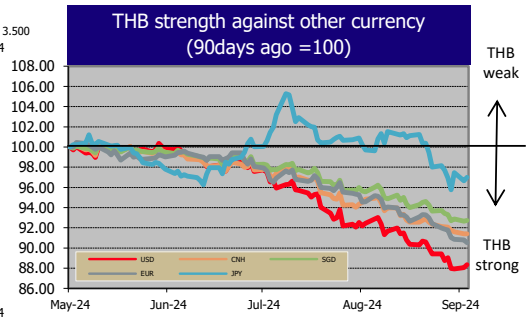


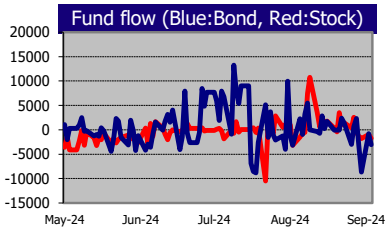


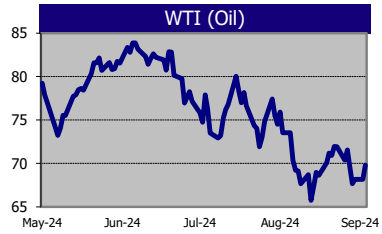












Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは小幅に上昇。32バーツ台半ば付近で取引を開始。前日海外時間にパウエルFRB議長が大幅利下げの可能性が低い旨を示唆したことからドル買い優勢の地合いとなり、ドルバーツも上昇。その後、一時下落する場面が見られるも、バンコク時間午後にタイ政府当局者から「タイ中銀の為替管理は不十分であり、ドルバーツは34バーツが適切な水準である」旨の発言が伝わる中、再度上昇に転じる展開に。海外時間に入ると上昇の勢いは一服し、強弱入り混じる米経済指標を眺めながら上下するも、結局一日を通して32バーツ半ばの水準を抜けることなく、そのままオープンからややドル高・バーツ安の水準となる32.53レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円はほぼ変わらず。143円台半ば付近で取引を開始すると、9月日銀会合の『主な意見』にて追加利上げに慎重なスタンスが確認されたことや、米金利の上昇等を背景に上昇。一時144円台半ばを付けた。勢いが一服し、143円台後半まで戻し海外時間に入ると、米8月JOLT求人件数が市場予想を上回るも、同時に発表された米9月ISM製造業景況指数が予想を下回ったことから一時143円ちょうど付近まで下落。ただ、中東地域の地政学リスクも意識される状況下において、相応のドル買いも見られる中、下げ渋り、終盤にかけては143円台半ばまで戻し、結局143.57レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

タイ政府は2025年度の公的債務計画を承認、1.2兆バーツの新規借り入れ計画となっています。この影響もあってか、9月下旬から米金利は数bp低下しているのに反してタイ金利は10bp近く上昇しています。新政権になってから、タイの株価は上昇、第一弾の現金給付が実施されたりと財政出動で景気刺激を図ろうとしていますがその効果が限定的でGDPの上昇につながらないようだと、公的債務残高対GDP比率の上昇は海外投資家にとって忌避されるものとなるため将来的にネガティブに捉えられる可能性がでてくる点には注意が必要です。タイの金利上昇に加えて米国の利下げや中国の刺激策等の外部要因による影響でバーツ高が急速に進んでいることで、観光や輸出を中心に景気減速が懸念されています。一方で、米国の利下げが今後も進むことが想定される中でドル安トレンドの反転を生み出すには別の材料が必要であり、目先は米大統領選挙や中東の混乱などが候補となるのではないでしょうか。(塩谷)

The report is prepared for the sole purpose of information only.It is not an invitaion to trade.The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.